

# 3月決戦ストを政治ストとして闘いぬく

## 組合員の声 千葉転支部

# 日刊 勤労千葉

81.3.1  
No. 689

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(電話)二九三五・六・六(兼)〇三三二七〇七

## 地域班を基礎にがっちり固まった闘う支部態勢

千葉運転区支部は、房総と総武を結ぶ運転戦場の「要石」として、常にわが勤労千葉の先頭で闘いぬいている。今回の三月決戦ストにおいても、津田沼支部と共に三・六ストを全組合員のろう城態勢で防衛し、闘いぬいた。

支部闘争委員会は、三月決戦ストライキ闘争に対する国鉄当局・権力のガサ入れ、指導部の逮捕など、わが勤労千葉の指令・指示系統の分断・破壊とロックアウト・業務命令の乱発など、あらゆる手段を使ったスト圧殺・封殺攻撃を想定し、地域班会議、職場集会、青年部独自行動などきめこまかな取り組みを積み重ね、三月決戦闘争勝利にむけた全組合員の意志統一と総決起をもって万全の闘争態勢を築いてきた。

さらに、国労分会に対して、三月決戦ストに対するスト破りとなるB変仕業については、拒否するよう申し入れるなどあらゆる事態を想定して闘いを準備し、敢然とストライキに突入し闘いぬいたのである。

そして、今、千葉転支部は、三月決戦ストを打ちぬいたが故の国鉄当局・権力からの不当処分をはじめとする反動とまき返し攻撃に対決するため支部執行委員会・各地域班・青年部などで諸会議を開き、一層強固な支部態勢構築にむけた取り組みが進められている。

### 経済闘争とちがって厳しかった

◎青年部執行委員 Aさん(28才)  
今回の闘争は、賃上げや労働条件改善の闘いではない。  
山谷新平がラジオで「労働組合は、経済闘争をやっていればよい、勤労千葉のような組合は、入社試験を厳しくして入れなければよい。」といっていた。経済闘争ももちろんそうだが、今回のような闘いも労働組合にとって切っても切れない闘いだ。あらゆる弾圧に対しても団結していかねばならない。

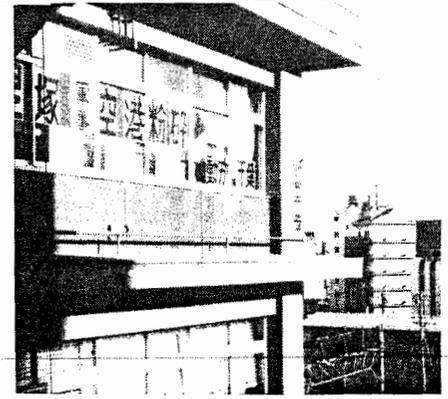
◎執行委員 Bさん(41才)  
支部執行委員になつてはじめてのストライキだったが、経済闘争とちがって厳しかった。

◎執行委員 Cさん(35才)  
三年前の減産闘争に対する瀬戸山法相の「刑事罰をかせ」という攻撃を打ち破った。ストに対する当局の対応には気が抜けたが、それだけに反動が大きいと思う。覚悟をもって闘っていく。

### 地域班・青年部を基礎に、一人一人が闘いを支えた

◎執行委員 Fさん(40才)  
非常に忙しかったが、これで終りというのではなく、  
今後も常に闘いを頭においてやっていたら、よりまとまるのではないか。特にこの闘争の中で、昼間は学習会、夜は独自の防衛態勢など青年部の独自の活動が行なわれたことはよかったと思う。

◎執行委員 Dさん(41才)  
今回のストには、組合員一人一人が考え、自覚をもって参加していた。まとまりがでてきた。今後の闘争は、やりやすいのではないか。



◎青年部員 Gさん(22才)  
銚子・佐倉問題など「本部」派との闘いを闘ってきた、ロックアウトなどの弾圧があると思ったが、ストに入つて「やった」という実感があった。これから一本(電車運転士になること)になったら、

◎執行委員 Eさん(37才)  
任務は、輸送班だったが整然と闘った。掲示だけでは目立たないので、地域班の班長が次の行動をもっと把握すべきだ。  
残念なことは、助役機関士の列車を止められなかったことだ。